

生活を支え、社会インフラとしての役割を担う

(有)コモット セブーンイレブン
柏崎横山店



オーナー 小林禎幸氏
柏崎市長峰町8-14
Tel.21-5622

小雨が降る夏の終わりに(有)コモット・セブーンイレブン柏崎横山店へ伺いました。チャイムがひっきりなしに鳴る慌ただしい中での取材。オーナーの小林さんは市内・春日生まれで今年四十五歳。幼稚園の年ごろに宮場町に越してきて、枇杷島小↓第三中↓鏡が沖中(三年時に新設)、その後、柏崎工業高校へ。卒業後は、地元企業に就職。当時、薬品を使う仕事で、肌が弱く手荒れに悩まされたそうです。医者に仕事をこのまま続けるのはちよつと厳しいと言われ退職。

その後、色々考えコンビニを始め、二十二歳で現在の店をオープン。「接客業に興味があり、自分自身で行動したい」との思いがありました。そういう意味で、セ

ブーンイレブンは、本部の指導・ノウハウもあり、また当時コンビニ業界の成長も著しかったので決断しました」と開業までのいきさつを話してくれました。

ご苦労されている事を伺うと「二十四時間・三百六十五日営業していることですかね。わかっていたことですが、スタッフの確保ができないと自分で全てやらないといけない。丸一日休みの日は、ほぼありません。毎日仕事しています(泣)」。ですので、旅行は中々行けませんね。子供たちも、そのあたりは察してると思います」ご家族はお子様二人と奥様の四人。奥様との馴れ初めを聞くと、「面白い話はありませんよ」と笑ってごまかされました。いっしょにお店で働いているそうです。

趣味は、ゴルフ・スノボ・登山など体を動かすこと。あとお酒が好きで、居酒屋からスナックまで、まんべんなく行かれるそうです。

商工会議所・青年部の会長をされている小林さん。「二十七歳からお世話になっています。他業種の方との繋がりもでき、良い機会を頂いております。勉強会が主な活動で、いつもは年十回ほど開催しております

す。今はコロナ禍で活動も自粛です」最後に今後の目標を伺いました。

「店を始めて二十三年。取り残されない商売の模索と、いかに地域密着でやっていくかですね。先日、詐欺被害撲滅活動で表彰を受けたのですが、店に來られて被害にあわれないうように目を配ることと、また災害時にも柔軟に対応し、地元へ愛される店を目指したいです。出来ればもう一店舗出せたらと思っています」今や無くてはならないコンビニ。小林さん、休みも取れず大変でしょうが、お体に気をつけて頑張ってください。

(十人衆 竹・圃 取材)

